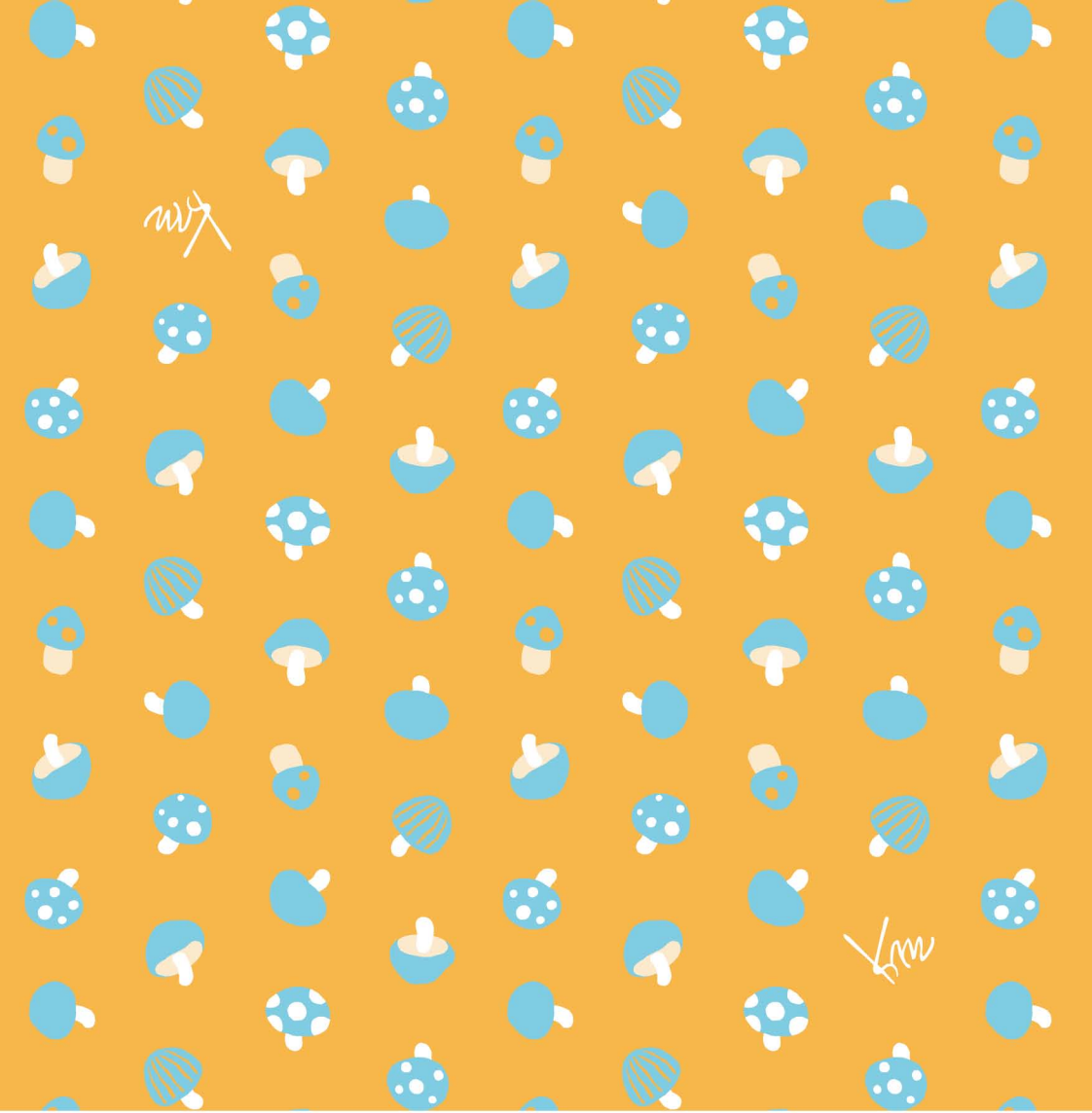


# fennica #06

2012-13 Autumn & Winter

*Less global, more local*





※白雪ふきんの全てのデザインは著作権により保護されております。



しらゆき  
白雪ふきん



白雪友禅 モダンシリーズ  
きのこ

垣谷繊維

〒630-8303 奈良県奈良市南紀寺町 5-85

TEL : 0742-22-6956

www.shirayuki-fukin.com



## GOOD THINGS FROM THE NORTH...

fennica Hokkaido Tote :  
hand made by Yucara weaving & Somes Saddles.



(fennica Hokkaido Tote) ¥59,850-

# 前例がないからやってみるという 開拓精神に満ちた「HOKKAIDO TOTE」。



text by Hitoshi Okamoto

ぼくは北海道で生まれ育ったので優佳良織のことは何となくわかっているつもりだった。実家のどこかに壁飾りか何かがあったはずだ。ぼくが子供の頃は観光みやげの定番だったのかもしれない。ユーカラは口承で伝えられるアイヌの叙事詩だということも知っていた。だから優佳良織をずっとアイヌの伝統工芸だと認識していた。それが間違いであると教えられたのは<fennica>の展示会でのこと。

『HOKKAIDO TOTE』と名付けられた、油絵のような図柄のウールの織物と柔らかい革を組み合わせたトートが、どうして北海道なのかを質問したら優佳良織という、自分にとってはおよそモダンではない言葉が飛び出してきて驚いた。資料には“ユーカラ”ではなく“優佳良”と書いてある。それを革と組み合わせてトートに仕上げたのは、北海道の馬具メーカー<ソメスサドル>だった。あまりにも記憶の中の織物と印象が違うので、それが子供の頃に見たものと同じなのかどうかを確かめに、北海道へ行くことにした。

旭川市にある「優佳良織工芸館」は、優佳良織を創案した木内綾さんという染織家が1970年に開館した場所だ。そこにうかがい、館長の木内和博さんから話を聞いた。

\_\_\_\_ ずうっと“ユーカラ織”だと勘違いしていて、アイヌの伝統工芸と思っていました。

木内 たしかに優佳良織は、以前はカタカナでユーカラと表記していました。織元（木内

館長は、2006年に82歳で亡くなった木内綾さんのことをこう呼ぶ）が北海道立工業試験場から、歴史のない北海道に伝統工芸と呼べる新しい織物をつくってほしいと依頼されて、北海道らしい風景を油絵のような織物につくりあげたとき、アイヌの代表の方がいらして、行動しながら文化を伝承していくという意味でユーカラという名前を使うのはどうだろうと言われたのだそうです。それで当初はユーカラ織と呼んでいたのですが、その都度、新しい独自の織物であることを説明しなくてはならず、織元はアイヌの方々の気持ちを大切に思いながらもずっと悩んでいました。そこで、親しく交流していた版画家の棟方志功さんが、漢字にすれば語韻は残るからと言って、優佳良という名前を考えてくださったのです。

\_\_\_\_ その優佳良織を使った<fennica>のトートバッグを見てとても驚きました。

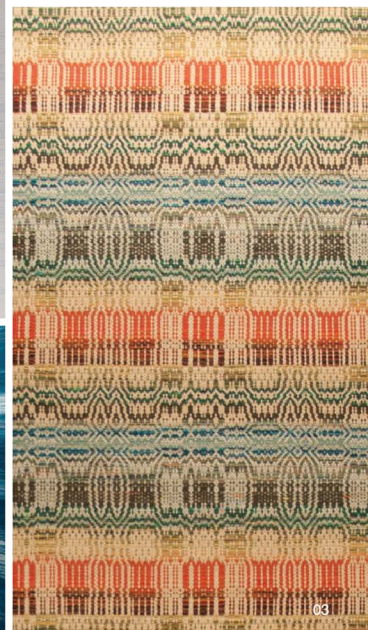
木内 こういうものをつくりませんかとこちらから提案する経験はありましたが、提案を受けてつくるのは初めてでした。ぼくらが考えもしないアイデアが興味深かったし、国際染織美術館をご案内したとき、北村恵子さんとテリー・エリスさんの真剣さや眼の確かさを間近で見ているうちに、一緒にやりましょうという気持ちになったんです。自分のやりたいことをやっているときの織元はいつもキラキラしていましたが、好きなものを見たり話したりしているエリスさんも同じようにキラキラしてい



優佳良織工芸館は「北海道伝統美術工芸村」内にあり、優佳良織の創始者である木内綾の作品が展示されており、200～300色の糸を使って北海道の風景を表現する油絵のような織物を堪能できる（織り工房や染め工房などは一般に公開されていない）。工芸村には他に「国際染織美術館」と「雪の美術館」がある。

北海道伝統美術工芸村

北海道旭川市南が丘3-1-1  
☎ 0166-62-8811  
<http://www.yukaraori.co.jp>



ました。だから自分たちの常識を超えている提案でも、共感できるものなら受け入れようと考えました。実際にエリスさんが選んだ図柄は、一般的に人気の集中するものではなく、わりと地味だけれどとても面白い選択でしたね。ぼくらにとっても勉強になるし、普段、自分たちが接している方々ではない、若い人たちが、優佳良織をどう見てくれるのかがとても楽しみです。

木内館長に敷地内にある「国際染織美術館」と「雪の美術館」を案内していただいた後、旭川から 50 キロほど離れた砂川へ移動して、<ソメサドル> 営業部長の加藤幸治郎さんに会う。ちょうど『HOKKAIDO TOTE』の製品ができあがったところだった。

——今回のアイデアを <fennica> から持ちかけられたときはどう思いましたか？

加藤 うちは馬具屋なので、お客様の要望があれば何でもつくります。手錠用のケースとかスキーの締め具とかピストルのケースとか、言われれば何でもつくるといことで、技術を蓄積してきたんです。でも、異素材を組み合わせて鞆をつくるという話をはじめでした。エリスさんの要望は、パネルレザーといって馬の鞍の内側、つまり馬の背に当たる部分に使うやわらかい革でつくりたいというものでした。馬具メーカーしか持っていないような革ですから、うちらしくて良いと思う反面、皺や筋が出やすい革でもあるのが心配でしたが、エリスさんはそれが味になるから良いと

言いました。この革の特性を理解されているんです。

——では、すんなりとできたんですね？

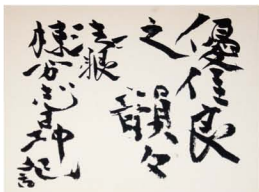
加藤 いいえ、工場の職人はやはりきれいに出来上がらないと嫌がりますから、まずはそこを説得しなくてはなりませんでした（笑）。

——優佳良織の木内館長とは、直接のやりとりをしましたか？

加藤 近所ですし、もともとつきあいのある相手でしたので、具体的な工程に入ってから直接のやりとりです。木内さんからは、オレには良くわからんからは任せたよと言われていました。エリスさんが選んだ織物が届いたのを見たときは、この図柄でいいのかなと思いましたが、作ってみたらじっくりくる。印象が変わるんですね。

製作に関わった両者が口を揃えて言っていたのは「やったことがないから面白いと思った」ということだった。自分たちの常識の中になんか新しいことを提案されて、それをあえて受け入れることで思ってもみない新しいプロダクトが生まれるのだ。

木内館長の話で印象に残ったことがある。「織元が、もし自分が京都に居たら、伝統やルールやらいろいろうさく言われたろう。北海道だから自由にできるんだと、よく言っていました」。そういう意味でも『HOKKAIDO TOTE』は実に北海道らしいバッグなのだ。



棟方志功が「優佳良織」と名付けたときの書。織元の木内綾は「北海道の自然を表現するのに自然染めだけでは色が足りない」という信念から、化学染料で染めた糸も使い、いろいろと批判を受けたこともあったという。



完成したトートには<ソメサドル>の馬具屋らしい細かいこだわりが各所にあった。例えばハンドルを本体に縫い付けた裏側の部分。通常は芯材が見えるのだが、薄い革を1枚かぶせて縫っている。



<ソメスサドル>の前身である<オリエントレザー>が北海道歌志内に創業されたのは1964年。北海道開拓に使われた農耕馬の馬具づくりの技術をもとに、乗馬具製作を始め、宮内庁の馬具やトップジョッキーの鞍を手がけるなど、国内唯一の馬具メーカーとして信頼を得ている。砂川ファクトリーは広い敷地内に工場とショールームがある。

ソメスサドル 砂川ショールーム

北海道砂川市北光237-6

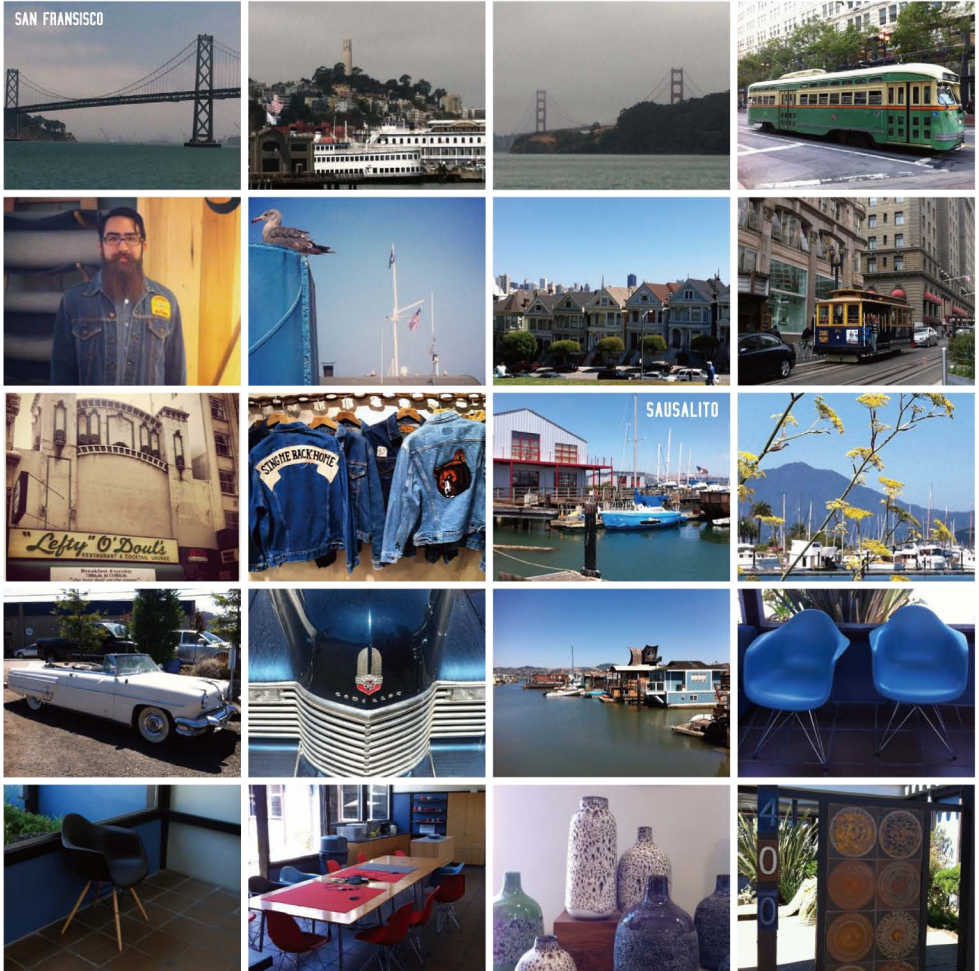
☎ 0125-53-5111

<http://www.somes.co.jp/>



## エリスさんのアメリカぶらぶら。

<fennica>バイヤーの北村さんとエリスさん、  
ときどき別行動で違う場所を回ります。今回はエリスさんのアメリカ写真日記をどうぞ。



[SAN FRANCISCO] 意外や意外、エリスさんにとって今回ははじめてのサンフランシスコなのだそうです。いろいろなショップを見て回ったり、ケーブルカーに乗ったり、ゴールデンゲートブリッジなども観光して、すっかりサンフランシスコの虜になりました。  
[SAUSALITO] 湾を挟んでサンフランシスコの対岸にあるサウスリートへ。マリナーにはヨットがいっぱい。そして水上に浮いたポートハウスも印象的。そして<ヒースセラミックス>へ。ヒースの陶器は前から知っていたけれど、工房へ行くのははじめて。建物や陶器制作の工程に深い文化を感じて、とても驚いたようです。



### テリー・エリス

エリスさんと一緒に居ると、本当にいつもたくさんの写真を撮っているのです。それらの一部は「Instagram」で見ることができます。フォローするにはアプリ(無料)をダウンロードして「[terry\\_ellis](#)」で検索してみてください。



[LAS VEGAS]空路ラスベガスへ。この街でいちばん心に残ったのは「PARADISE PARK」という住宅街。気温40°Cの中、3時間も歩きまわり、最後は日陰の芝生に倒れ込んでしまったとか。[48 CLUB] 48 という数字が前のポケットと背中にプリントされたこのジャケットをご存知ですか？ アイビーリーグの卒業生が同窓会などの飲み会で服を汚さないように上から羽織ったドリンキングジャケットです。エリスさんの友人デザイナーの間ではカルト的なアイテムになっていて、「GQ」主催のパーティーにも皆揃いでこのジャケットを着て出かけたのだそうですよ。



## fennica 2012-13 Autumn / Winter

*Good Neighbors in Higashikawa, Hokkaido.*



佐藤 亜希子さん  
〈Anna Ruohonen〉シャツ ¥31,500  
〈Bess Nielsen〉コート ¥46,200  
〈Eatable Of Many Orders〉パンツ ¥35,700  
〈Wolverine〉ブーツ ¥57,750

佐々木 康輔さん

〈Toyo Enterprise〉シャツ ¥9,975

〈fennica〉コットンセーター ¥14,700

〈Toyo Enterprise〉パンツ ¥21,000

〈Yuketen〉シューズ ¥54,600

〈村本テント〉トートバッグ ¥8,400



山本 知可子さん

〈Rose&Rose〉ニットキャップ ¥12,600

〈Orslow〉シャツ ¥18,690

〈Gant by Michael Bastian〉セーター ¥23,625

〈Rocky Mountain〉ダウンベスト ¥44,100

〈Orslow〉スカート ¥17,640

〈Wolverine〉ブーツ ¥57,750





大森雅哉さん

(Orslow) シャツ ¥18,690

(Rocky Mountain) ダウンベスト ¥27,300

(Orslow) パンツ ¥17,640

(Yuketen) シューズ ¥48,300

他私物



小畑 吾郎さん

- 〈Boncoura〉ニットキャップ ¥12,600
- 〈Gant Rugger〉ラガーシャツ ¥15,750
- 〈Toyo Enterprise〉ピーコート ¥59,850
- 〈Boncoura〉パンツ ¥26,250
- 〈Wolverine〉ブーツ ¥57,750
- 〈Porter〉バックパック ¥24,150



米山 知美さん  
(Eatable Of Many Orders) ワンピース ¥44,100  
(Rose Mosa) フォーズ ¥31,500  
(Pia Wallen) ブランケット ¥8,925

# fennica 2012-13 Autumn / Winter



**Billy Lloyd**  
スタッキングマグ ¥17,010



**白雪ふきん**  
ハンカチ ¥420・ふきん ¥368



**小原文平漆器店**  
吸物椀 ¥15,750(左)・¥14,700(右)



**小農田焼**  
ビアカップ 各¥3,045



**Classic Ko**  
ピンズ 各¥12,600



**出西窯**  
ピッチャー ¥8,610



**松本民芸家具**  
スツール ¥44,100



**延興寺窯**  
ポット ¥9,450・湯呑 ¥2,940



**村本テント**  
バッグ ¥10,290



**Universal Works**  
ジャケット ¥65,625



**The Opanak**  
シューズ ¥5,040



**fennica**  
コットンセーター ¥14,700



**Lilly Pulitzer**  
カーディガン ¥9,975



**優佳良織**  
ニットタイ 各¥9,870



**Boncoura**  
デニムシャツ ¥26,250



**Lilly Pulitzer**  
スカート ¥12,600

## fennica Shop List

International Gallery BEAMS  
〒150-0001 渋谷区神宮前 3-25-15 2F 03(3470)3948

BEAMS JAPAN  
〒160-0022 新宿区新宿 3-32-6 6F 03(5368)7304

BEAMS WEST  
〒651-0087 神戸市中央区御幸通 7-1-15 1F 078(230)7690

BEAMS Online Shop (fennica)  
<http://shop.beams.co.jp/shop/fennica/>

NIPPON-MADE  
**BONCOURA**  
www.boncoura.jp

ニッポンメイドボンクラシリーズ。

松本民芸家具

長野県松本市中央 4-7-5  
TEL 0263-32-1326  
http://matsumin.com/

もやい 工芸

MOYAI KOGEI

手仕事フォーラム <http://teshigoto.jp/>

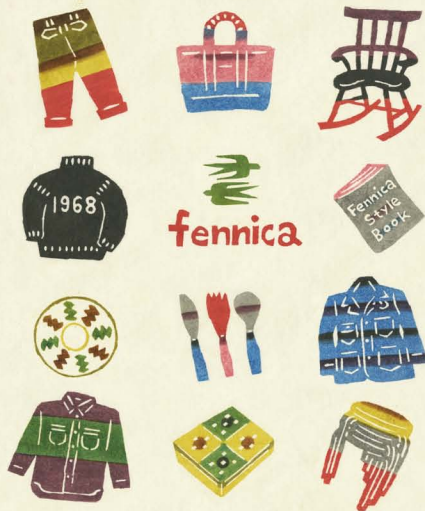
〒248-0017 神奈川県鎌倉市佐助2-1-10  
☎ 0467-22-1822 定休日：火曜日(祝日除)  
<http://moyaikogei.jp/>

出西窯

出西窯 shussaigama

〒699-0612 鳥根県出雲市斐川町出西3368  
☎ 0853-72-0239 [www.shussai.jp](http://www.shussai.jp)

# Traveling fennica Shop 2012



“デザインとクラフトの橋渡し”をテーマに、日本を中心とした伝統的な手仕事と、北欧などから集められた新旧デザインを融合したスタイルを提案するビームスのレーベル〈fennica〉。毎回好評いただいている〈fennica〉ミニショップが全国を巡回中です。定番アイテムに加えて、ワークジャケットやパンツ、スカート、バックパックなど細部にまでこだわったオリジナルアイテムが充実。また北海道、石川県、栃木県の益子など新たに注目した地域のアイテムも登場予定。〈fennica〉らしい普遍的で豊かな生活を紹介します。

10.12 fri - 21 sun 金沢・クラフト広坂  
2階ギャラリー

11月中旬 ビームス 福岡

11月末 ビームス 鹿児島

フェニカ ブログ <http://www.beams.co.jp/labels/detail/fennica>

## fennica

form, fashion, crafts

2012年10月18日発行

© 2012 BEAMS CO., LTD.

編集人 | 岡本 仁 (Landscape Products)

表紙 | 江夏 潤一

デザイン | 清水 隆司 (Judd.)

発行人 | 設楽 洋 (BEAMS)

発行 | 株式会社 ビームス

東京都渋谷区神宮前3-25-15

03-3470-9391

印刷 | 瀬上印刷株式会社

Printed in Kagoshima

<http://www.beams.co.jp/labels/detail/fennica>

[twitter.com/fennicabeams](https://twitter.com/fennicabeams)

本誌に掲載されている商品の仕様および価格は、予告なく変更される場合があります。また印刷の都合上、実際の色と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

✧ Epilogue



もし旭川の「北海道伝統美術工芸村」へ行く機会があるのなら、ぜひ「優良織工芸館」だけでなく、「雪の美術館」に寄ってみてください。木内綾さんの、織物とは違う形で表現された北海道への愛を感じられると思います。この建物が完成したときに、木内さんは関わった大工さんや職人さんたちを招待して落成記念のパーティーを催したそうです。招かれた職人さんたちは「どんな格好をしていったら良いかわからない。もっと偉い人と呼ぶのが普通だ」と慌てたらしい。そして木内綾さんは「偉い人はいつでも呼べるから、完成をあなたたちと祝いたいのです」と言っていたそうです。どんな場所かは、自分の眼で確かめてください。良い旅を！



SUNSPEL

ENGLAND  
1860



[www.sunspel.jp](http://www.sunspel.jp)

すべての人生は、映画だ。  
そう思うか、思わないか。  
それだけで毎日は、  
がらりと変わる。

**BEAMS**

# LIFE AS CINEMA

